学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 5
開講期間 / Class period	/ Second Semester 2018/09/26~2019/03/31		
	2010/00/20 2010/00/01	単位数/一畝/紀》/の学》/Crodito	
必修選択/Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学)/Credits (general/admission/overseas)	
時間割コード/Time schedule code	20182050671001	科目番号/Subject code	20506710
科目ナンバリングコード / Numbering Code	HEMC10521850		
授業科目名 / Subject	健康と運動/Health and Exerc	ise	
編集担当教員/Professor in charge of putting together the course syllabus	坂本 淳哉/Sakamoto Jiyunya		
授業担当教員名(科目責任者) /Professor in charge of the subject	坂本 淳哉/Sakamoto Jiyunya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)		浜崎 美和/Miwa Hamasaki, 辻 麻	末由美 / Mayumi Tsuji
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態/Class Form	講義 / Lecture
教室/Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) /Target students	医学部(保)・1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jun-saka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	保健学科3F		
担当教員TEL/Tel	095-819-7964		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時	ウェス・カン での 佐畑	小台 在底地化大片 在 师士士
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	きたし、生活習慣病、生活不活発 能低下をまねき,生活の質が低下	度の低下だけでなく、呼吸・循環・ 病などの原因となる。また,抑うつ する。健康に生きるための運動の意	, 認知症の進行など心身の機
授業到達目標/Course goals	1.人間の健康における運動の意義を理解する。 2.運動不足がもたらす健康障害を知る。 3.医療支援について考える。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Lesson method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	レポートおよび授業に臨む態度、グループワーク・討論・プレゼンテーションでの積極性、発表内 容などを総合判定する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word 教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching	運動、生活習慣、健康		
material, and Reference book 受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	随時,資料を配付する 特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for	11/10/05 0		
students with disabilities)			
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
受業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回 (9/28)	オリエンテーション、運動と身体(坂本)		
第2回 (10/5)	生活習慣病と健康(浜崎)		
第3回 (10/12)	虚弱と運動(坂本)		
第4回(10/19)	健康と食生活 (辻)		

第5回 (10/26)	栄養と運動
第6回 (11/2)	運動とこころの健康
第7回 (11/9)	グループワーク1(坂本、辻、浜崎)
第8回 (11/16)	グループワーク2(坂本、辻、浜崎)
第9回 (11/30)	グループワーク3(坂本、辻、浜崎)
第10回 (12/7)	グループワーク4(坂本、辻、浜崎)
第11回 (12/14)	グループワーク5(坂本、辻、浜崎)
第12回 (12/21)	グループワーク6(坂本、辻、浜崎)
第13回 (1/11)	グループワーク7(坂本、辻、浜崎)
第14回 (1/25)	発表 1 (坂本、辻、浜崎)
第15回 (2/1)	発表 2 (坂本、辻、浜崎)

学期/Semester	2018年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 1, 金/Fri 2
開講期間/Class period	2018/06/05 ~ 2018/09/25	·	
必修選択/Required/Elective class	必修,選択/required, elective	単位数(一般/編入/留学)/Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
- 時間割コード/Time schedule code	20182050672001	科目番号 / Subject code	20506720
科目ナンバリングコード / Numbering Code	HEMC10031850	THE St. compete come	
授業科目名 / Subject	健康を支える家族と社会 / Heal	th. Family and Society	
編集担当教員 / Professor in charge of		. , . ,	
putting together the course syllabus	平野 裕子/Yuko Ohara-HIRANO		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	平野 裕子/Yuko Ohara-HIRANO		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	/Oomati Idumi	本田 純久/Honda Sumihisa, 大L	山 祐介,大町 いづみ
科目分類 / Class type	学部モジュール科目、学部モジュー		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態/Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) /Target students	保健学科1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hirano@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	保健学科研究棟4階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7940		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールでアポイントメント		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	保健・医療・福祉領域における今日の家族および地域社会のありかたについて、定義、機能、健康 問題との関連性、今後の課題などを、現在、保健・医療・福祉領域において活動するゲストスピー カーによる話題を分析・考察することを通し、理論的および実践的に学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	健康・病気と、それらをめぐる家 説明することができる。	族および社会のありかたについて、	、実践例を踏まえ、論理的に
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために実践する活動 b. ではいけばらいたのに実践する活動 D. に対しています。 C. 大きにではないに対しています。 E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される F. ないにはいます。 F. ないにはいます。 F. ないにはいます。 F. ないにはいます。 F. ないにはいます。 C. ないにはいます。 C. 大きにいます。 C. 大きにはいます。 C. 大きにはいます。 C. 大きにはいます。 C. 大きにはいます。 C. 大きにはいます。 C. 大きにはいます。 C. 大きにはいます。 C. 大きにはいます。 C. 大きにはいます。 		
成績評価の方法・基準等/Grading	90%課題学習の発表・レポート、10%授業への積極的な取り組み状況。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法	詳細は授業計画詳細を参照		
)/Class content and format 事前、事後学習の内容/Preparation & Review	日本版 10.1 文末日 四日本版 10.1 文末日 10.		
キーワード/Key word	健康、家族、社会、ソーシャル・キャピタル		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	適宜指示する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	単位取得を希望する者は、自己責	任にて、期限内に授業の登録を行う	こと。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいる。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)に相談すること。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students		これらは成績評価の90%を占める <i>1</i> くなるので、了承の上受講すること	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	6月8日(1校時):イントロダクション:健康・家族・社会の関係(1)(平野)
第2回	6月8日(2校時):健康・家族・社会の関係(2)(平野)
第3回	6月15日(1校時):退院支援-病院から地域へ (大山)
第4回	6月15日(2校時):健康と家族・事例検討(1)(大町)
第5回	6月22日(1校時):健康と家族・事例検討(2)(大町)
第6回	6月22日(2校時):健康と家族・事例検討(3)(大町)
第7回	6月29日(1校時):健康・家族・社会の関係(3)(平野)
第8回	6月29日(2校時):地域で生活する患者を支援する (長崎大学病院ソーシャルワーカー青木)
第9回	7月6日(1校時):健康・家族・社会の関係(4)(平野)
第10回	7月6日(2校時):高齢者の社会的孤立 (本田)
第11回	7月13日(1校時):高齢者を支える地域のつながり (本田)
第12回	7月13日(2校時):ソーシャル・キャピタルと健康 (本田)
第13回	7月20日(1校時):ソーシャル・キャピタルと健康一鶴の尾町の事例から (平野)
第14回	7月20日(2校時):鶴の尾町団地「助っ人隊」の活動について(ゲストスピーカー)
第15回	7月27日(1校時):最終レポート

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間/Class period	/ Second Semester 2018/09/26~2019/03/31	•	
元時利用 / OTASS PCTTOG	2010/00/20 2010/00/01	出价粉/一帆/炉》/网带\/Cradita	
必修選択/Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学)/Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード/Time schedule code	20182050673001	科目番号/Subject code	20506730
科目ナンバリングコード/Numbering Code	HEMC10531850		
授業科目名 / Subject	暮らしと環境/Community livin	ng and environment	
編集担当教員/Professor in charge of putting together the course syllabus	 石松 祐二/Ishimatsu Yuji		
授業担当教員名(科目責任者) /Professor in charge of the subject	石松 祐二/Ishimatsu Yuji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) /Professor(s)		永 洋子,横尾 誠一/Yokoo Seii Ayano,加藤 千穂/Kato Chiho	ti, 田中 準一/Junichi
科目分類/Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態/Class Form	講義 / Lecture
教室/Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) /Target students	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuji-i@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	保健学科4F		
担当教員TEL/Tel	819-7941		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで担当教員にアポイントを メールをして下さい。	取ってください。保健学科以外の教	員に関する場合は、石松まで
授業の概要及び位置づけ/Course overview and	「日々の暮らし」や「暮らしを取	り巻く環境」と健康の関わり合いを	、様々な観点から捉え、現在
relationship to other subjects	の状況や抱えている問題点・課題		
授業到達目標/Course goals	 人々の暮らしについて様々な形態があることを理解できる。 人々の暮らしに影響を及ぼす要因を述べることができる。 療養を必要とする人々の暮らしと居住環境について地域特性や年齢による違いを考えることができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 c.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業に対する積極的な取り組み(5%)、レポート(45%予定)、小テスト(45%予定) (注意:オムニバス形式で実施されるこの科目は、上記の評価の割合は、レポートと小テストの実 施の割合で、最終評価に占める割合は決定します。)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	配付資料およびLACS資料		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		

「喫煙による健康問題(1)」(河野 哲也 [呼吸器内科])
「喫煙による健康問題(2)」(河野 哲也 [呼吸器内科])
ガイダンスおよびSNS時代の医療情報管理(石松 祐二)
「社会的不利条件と人々の暮らし(1)」(田中 準一)
「社会的不利条件と人々の暮らし(2)」(田中 準一)
「PM2.5と健康」(尾長谷 靖 [呼吸器内科])
「暮らしと生活習慣病(1)」(山下 裕 [腎臓内科])
「妊婦の健康と環境(1)」(加藤 千穂)
「妊婦の健康と環境(2)」(加藤 千穂)
「暮らしと生活習慣病(2)」(石松 祐二)
「地域住民の健康と環境 (1)」(キット 彩乃)
「地域住民の健康と環境 (2)」(キット 彩乃)
「在宅で療養する人々における環境 (1)」(横尾 誠一)
「在宅で療養する人々における環境 (2)」(横尾 誠一)
「暮らしと微生物」(石松 祐二)

学期 / Semester	2018年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 1
開講期間 / Class period	2018/04/01 ~ 2018/09/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学)/Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード/Time schedule code	20182050676001	科目番号 / Subject code	20506760
科目ナンバリングコード / Numbering Code	HEMC10541850		
授業科目名 / Subject	加龄		
編集担当教員/Professor in charge of putting together the course syllabus	佐藤 克也/Satou Katuya		
授業担当教員名(科目責任者) /Professor in charge of the subject	佐藤 克也/Satou Katuya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) /Professor(s)	, i	浩二/Yoshida Koji,井口 茂/	Inokuti Shigeru
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態/Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[保]セミナー兼講義室		
対象学生(クラス等) /Target students	2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	satoh-prion@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	保健学科 5 階		
担当教員TEL/Tel	(直通)095-819-7991 (内線7991)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(訪室前に電話連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	"老化"とは加齢に伴って生体機能、例えば筋力、神経伝導速度、肺活量、病気に対する抵抗力などが低下することであり、"加齢"と"老化"とは異なる。加齢と老化の対比をもとに、運動に密接に関わる筋・骨格系、神経系、呼吸・循環系に関する加齢・老化を知り、生物学的老化と加齢を学ぶとともに、高齢者がその背景として抱えている身体的・心理的な問題を整理し、いかにして対応していくのか考えていく。		
授業到達目標/Course goals	医療人として、医学、看護、理学、作業の側面から「老化」を考え、さらに「老化」を個人で考え 、次にグループと個人でじっくりと考えていく。さらに考え、調べたことをレポートにし、大学生 として行動する学習法について学ぶ。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 clivities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 E.上記以外の学生の思考の活性化をのす授業手法 fixing the problem of lectures from teachers F.教員からの講義のみで構成される ************************************		
成績評価の方法・基準等/Grading	レポートおよびグループ発表、討論での積極性、発表内容などを総合的に判定する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	特になし。		
キーワード/Key word	加齢、生活習慣、健康、高齢者の感情		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	特に指定はない(必要に応じて準備する)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	特にないが、モジュールの再履修者を中心に開講する。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	総論、日程説明、モジュールの方針		
第2回	加齢とは		
第3回	加齢と老化(理学療法の側面)(1)	

第4回	加齢と老化(理学療法での側面)(2)
第5回	加齢と老化(看護の側面)
第6回	加齢と老化(作業療法での側面)(1)
第7回	加齢と老化(作業療法での側面)(2)
第8回	グループの発表のための準備(1)
第9回	グループの発表のための準備(2)
第10回	グループ発表(1)
第11回	グループ発表(2)
第12回	レポートのための準備(1)
第13回	レポートのための準備(2)
第14回	総括
第15回	総括

学期 / Semester	2018年度/Academic Year 3クォーター/Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4, 火/Tue 5
開講期間/Class period	2018/09/26 ~ 2018/11/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学)/Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20182050678001	科目番号 / Subject code	20506780
科目ナンバリングコード / Numbering Code	HEMC10511850		
授業科目名 / Subject	人の発達と成長		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鶴崎 俊哉/Tsurusaki Toshiya		
授業担当教員名(科目責任者) /Professor in charge of the subject	鶴崎 俊哉/Tsurusaki Toshiya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	Riyouitirou	森藤 香奈子/Morifuji Kanako,	岩永 竜一郎 / Iwanaga
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態/Class Form	講義 / Lecture
教室/Class room	[保]101講義室		
対象学生(クラス等) /Target students	1年次生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toshiya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	保健学科 3階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7960(内線:7960)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月・水・金の12:00-12:50 火・オ		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ることで発達に関する理解を深め	る。	
授業到達目標/Course goals	医療者として発達を援助するために必要な知識,考え方を理解し,自分の言葉で説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 definition of the contents to the lesson or to think over activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 definition of the comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される b. Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 		
成績評価の方法・基準等/Grading		, プレゼンテーション(20%), 定	
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法	詳細は授業計画詳細を参照		
)/Class content and format 事前、事後学習の内容/Preparation & Review	計細は技業計画計組を参照		
キーワード/Key word	┃ 定型発達 こども		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching			
material, and Reference book	特に指定しない(必要に応じて資料を配付する)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc. アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	こどもの発達を多職種の立場から解説します。		
授業計画詳細 / Course Schedule	専門職としての基本的知識としてだけでなく,将来親になった時にも役立てて欲しい内容です。		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第2回	認知・対人関係・情動・行動の発達:岩永 認知・対人関係・情動・行動の発達に関するグループワーク
第3回	母子関係・摂食の発達:森藤 母子関係・摂食の発達に関するグループワーク
第4回	遊びの発達・集団行動の発達:ゲスト(保育園園長 柿田先生) 遊びの発達・集団行動の発達に関するグループワーク
第5回	遺伝:森藤 遺伝に関するグループワーク
第6回	発達障害:岩永 発達障害に関するグループワーク
第7回	運動発達の問題:鶴崎 運動発達の問題に関するグループワーク
第8回	総括 定期試験

学期/Semester	2018年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 1, 金/Fri 2
開講期間 / Class period	2018/04/01 ~ 2018/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (general/admission/overseas)	2.0//
時間割コード/Time schedule code	20182050701001	科目番号 / Subject code	20507010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	HEMC10041850		
授業科目名/Subject	被ばくと健康		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	永田 明/Nagata Akira		
授業担当教員名(科目責任者) /Professor in charge of the subject	永田 明/Nagata Akira		
授業担当教員名(オムニバス科目等) /Professor(s)	永田 明/Nagata Akira,上野 :	和美/Ueno Kazumi,大山 祐介	
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態/Class Form	講義 / Lecture
教室/Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) /Target students	1, 2, 3, 4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nagata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	保健学科4階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7938		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(ただし上記のメールアドレ		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	長崎大学(学士課程)全学共通の3P(AP/CP/DP)の中て *,長崎は,被爆体験をもとに世界の恒久平 和を宣言した平和都市て *あることに触れている。また,保健学科の教育理念の中て *も,原爆被害県として未た *その後遺障害に苦しむ多くの患者か *存在し,地域医療・ケア体系の確立の視点からも, 資質の高い医療専門職の育成の必要性を述へ *ている。本科目は,保健学科で *学ふ *学生として,被は * くと健康との関係について学習する。		
授業到達目標/Course goals	1.放射線の基本的な知識について理解し,被は `くと健康の関係について説明て `きる。 2.被は `くに関する歴史的な経過を説明て `きる。 3.医療・災害における被は `くに関するトヒ ゚ックスを理解し,健康との関係について説明て `き		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 し、問題解決のために知識を総合的に活用する活動 obr>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 obr>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 b. 世界のの講義のみで構成される obr>/ It consists only of lectures from teachers L本。とは理解の点 ないました。 L本のことは関係の表現を表現したりで表現の表現を表現します。 に対しまれています。 D. 日本のの言葉のよりに対します。 の言葉のの言葉のよりに対します。 の言葉のよりに対します。 の言葉のよりに対します。 の言葉のよりに対します。 の言葉のよりに対します。 の言葉のよりに対します。 の言葉のよりに対します。 の言葉のよりに対します。 C. 大力ではいます。 の言葉のよりに対します。 		
	レホ °ート課題40点, ク *ルーフ °ワーク40点, 授業への貢献20点		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各単元ごとに指定する事前課題に取り組んでくること		
キーワード/Key word	被は °く・健康		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	講義内で随時紹介		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.		亚笑に勃みを巫はっ機へを応じてっ	ため 仮労のかけ じょりつ
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学で *は,全ての学生か *平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨け *となり得る社会 的障壁の除去及ひ *合理的配慮の提供に取り組んで *います。授業における合理的配慮等のサホ *ートに ついては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障か *い学生支援室)にこ *相談下さい。		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		

1回	講義ガイダンス
2回	健康とは
3回	放射線の基本的な知識
4回	被ばくの歴史
5回	医療における被ばく
6回	災害における被ばく
7回	グループワーク
80	グループワーク